

高松学習館運営協議会（令和6年9月）会議録概要

開催日時 令和6年9月12日（木曜日）午後6時30分～8時10分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

丸山あかね（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

難波敦子（立川市生涯学習市民リーダーの会）

川合博（立川市高松児童館）

小原雅俊（たちかわ市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

戸井田宗二郎（公募市民）

欠席2名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 副会長あいさつ 残暑厳しい中お集まりいただきありがとうございます。学生さんもお参加いただきありがとうございます。アイムで市民講師フェアを開催中ですのでぜひ足をお運びください。

これより梅田会長が進行

2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。
 - ・アール・ブリュット立川～高松からの風（9/4～9/16 実施）
アール・ブリュット立川実行委員会との共催で開催している。アール・ブリュット作家の方々と地域の福祉施設の方々の作品を展示しており、多数の来館者がある。9/8 ワークショップ（木片とワイヤーを使ったオブジェ）は70人の参加があった。
 - ・立川市民講師フェアについて（9/9～9/15 実施）
女性総合センター・アイムで市民リーダーさんの作品展示が開催されている。ワークショップ体験や音楽、パフォーマンスもご覧いただける。
 - ・立川市地域学習館運営協議会報告書（第7期）について
学習館全6館運営協議会の前期の報告書に後ほど目を通していただきたい。
 - ・その他
 - ・A委員：アール・ブリュット展示期間2週間は館内ロビー全体を使用しているが、学習館利用サークルの案内ちらしや行政のお知らせを置くスペースを工夫していただきたい。
 - ・事務局：アール・ブリュット展については来年度の展示場所、期間、スペース等について今後実行委員会との相談し検討していきたい。ちらしについても置くスペースにより優先順位を検討しなければならないと思っ

ている。

- ・ A 委員：一団体だけ優先されているのか。
- ・ 事務局：年に何回かある学習館主催事業や共催イベントを優先している。アール・ブリュット展は期間が長いので今後調整が必要と思っている。
- ・ A 委員：前回話に出た生涯学習推進センターの移管について報告していただくことはないか。
- ・ 事務局：9月議会開催中で議員より質問があり、来年度は図書館が市長部局に移管し生涯学習推進センターは教育委員会に残る旨の答弁があったと聞いているが具体的な発表はない。生涯学習推進審議会ではどうか。
- ・ B 委員：特に報告はない。
- ・ A 委員：市議会も教育委員会も傍聴したが、どういう話なのかわからないという状況だった。どういう理由で市長部局に移管するのか、市長の意向、教育委員会の回答、生涯学習推進審議会の意見書などについて資料や説明がほしい。重要なことなので次回説明いただけるようお願いしたい。
- ・ B 委員：ご意見はごもっともで、展示会の時に全てのスペースを使用してしまうので各種団体の案内や行政のお知らせがどうなっているか。それに関しては砂川学習館でも導入しているデジタルサイネージ（電子看板）を活用することでスペース的な問題を解決する方法もある。
また、先ほどの行政、教育委員会や生涯学習推進審議会の件は最終的な結論は出ていない段階である。議会での答弁はあったが、正式な通達教育委員会や生涯学習推進審議会、職員にもまだ来ていない状態。事務局の回答以上は誰もできない状況。
- ・ A 委員：移管の理由等がわからないままいろいろ行われようとしているので次回に説明をお願いしたい。
- ・ B 委員：答弁を聞いてわかったのでは説明不足ということ。説明不足のまま意見書を提出したということになる。教育委員会も生涯学習推進審議会の意見書を参考にして意見回答をしたということが明らかになっていた。
- ・ A 委員：生涯学習推進審議会の意見書がどういう内容かわからない。
- ・ B 委員：議会傍聴の配布資料に教育委員会の回答書と生涯学習推進審議会の回答書があったので確認していただきたい。
- ・ A 委員：確認するようにしたい。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

C 委員：議事録についてリクエストがある。質問事項が出た場合にこの会議の内部資料として確認する時は発言者の名前を記載してほしい。その方が会議欠席の委員に会議の内容が分かりやすい。

事務局：次回より取り組みたい。HPには個人名は載せない形になる。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・ 地域活性化事業について

今後実施の地域活性化事業について事務局より説明があった。10/6 高松町ふれあい健康フェアでは高松児童館と学習館で一緒に参加し、児童館の昔あそび体験と栗原委員に簡単な折り紙を指導してもらう。

- ・ 東京学芸大学との連携事業について

本日の会議に参加の学生より前回会議で出た意見や図書館とうち合わせした内容を踏まえ学生間で検討した結果について説明があった。

広報原稿校正のため各項目について協議した。

- ・ 図書館とのうち合わせについて

本日午後に図書館の担当者と事務局でうち合わせをした。ふだんのおはなし会の形に倣い、図書館職員さんの方で予備の絵本の準備、手遊び、会場内の装飾、来場者の数や年齢層に応じて対応していただけることになった。

- ・ 各企画内容について

事前申込制または当日来場順、対象、定員について確認した。

- ・ 工作の定員について材料の個数やスタッフの人数を考慮して15人としたい。

- ・ 演劇ワークショップの対象は組んでいるプログラムの内容の関係で小学生低学年としたい。具体的な学年について学生さんから事務局に連絡する。

- ・ 駐車場で実施する縁日について

型抜きは外で行うため落としたり、手を洗えるかななどの衛生面が気になる。型抜きを学習館で購入可能かどうかということもある。

食べないもので他の種目に変更したらどうか。2年前に夏のたかまつりで使用した的入れを保管してあるので活用したらどうか。

わなげは番号によって景品を渡すのはいいのではないか。

わなげのスタッフは少なくとも3人は必要。

縁日はわなげと的入れ(仮)とする方向。

景品について 食品(駄菓子類)は学習館での購入が難しい。次回会議でアイデアを出し合って検討する。

- ・ 参加申込ができなかった来場者への対応として様々な紙類を準備して自由に紙工作できる場を第2教室にフリースペースとして設ける。難波委員が担当する。タイトルを考える。

- ・ 当日のスタッフについて確認した。

今のところお手伝い可能な委員：梅田委員、難波委員、丸山委員、小原委員、栗原委員の5人

学生さんの方でも学生ボランティアを募っている。見守りの協力を自治会の方にお声がけしていただく。

- ・ 講座のタイトルについて

「つくって、うごいて、あそぼう！たかまつり」に決定した。広報原稿のリード文(身近な人に感謝の気持ちを伝える)はそのまま残す。

- ・ ちらしは学生さんの方で作成中、10月会議で確定する。

- ・ オンライン講座について

事務局より新規企画案について説明があり承認された。

- ・ 「はじめての宅トレ～おなか編」講師は金城祐也さん（市民リーダー）オンラインに精通している講師で時間的に自宅から離れることが難しい子育て中の方などを対象に身体をリセットする機会を提供するオンライン講座を実施する。
- ・ A 委員：オンライン実施に使用する機器は学習館にあるのか。機器は市民に貸出しているのか。
- ・ 事務局：学習館で実施するオンライン会議や事業で使用しており、利用団体には貸出していない。
- ・ A 委員：Zoom は有料なのか、どういう契約になっているのか。
- ・ B 委員：行政でライセンスを取得している。
- ・ A 委員：有料の Zoom 以外に他に無料で使用できる方法を検討できないのか。
- ・ B 委員：利用団体としてはオンライン機材の貸出しがあると助かる。自治連では無料の LINE を使用して会議を行っている。テレビ電話ができて画面共有ができるようになったのでとても便利。
- ・ D 委員：今回企画のオンライン講座では講師が学習館に来て映像を配信することになるのか。
- ・ 事務局：参加者に Zoom アドレスを連絡して参加していただく形。
- ・ A 委員：パソコンを使える人でないと参加できない。
- ・ B 委員：生涯学習推進センター全体でオンライン参加を広めることに取り組んでいる。

(3) その他

- ・ 次回の会議開催日程について：当初予定の 10 月 10 日（木）より 10 月 7 日（月）に変更となった。時間は午後 6 時 30 分～第 1 教室
- ・ 学校だより 第 2 中学校区の小中学校のおたよりを配布しているのでお読みいただきたい。
- ・ A 委員：学習館玄関外に市民憲章の看板があるが錆びて劣化しているので対処していただきたい。
事務局：確認して対処したい。

4. 地域課題共有 時間の関係で省略された。

以上